# AD-5663
## マルチ CH ワイヤレス温湿度計

# AD-5663-01
## 外部センサ

# 取扱説明書
# (保証書付)

ご注意

(1) この取扱説明書は、株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の内容の一部、または全部の無断転載は禁止されています。
(2) この取扱説明書の記載事項および製品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

1WMPD4002902

# 目次


１．はじめに ...... 3

２．構　　成 ...... 3

３．安全にお使いいただくために ...... 3

４．特　　徴 ...... 4

５．各部の名称 ...... 5

５－１．親機 ...... 5

５－２．子機 ...... 7

６．設　　置 ...... 8

６－１．親機の設置（スタンドと壁掛け） ...... 8

６－２．子機の設置 ...... 8

６－３．子機の測定部位について ...... 8

７．電池の交換方法 ...... 10

７－１．親機の電池交換 ...... 10

７－２．子機の電池交換 ...... 10

８．操作方法 ...... 12

８－１．親機の操作方法 ...... 12

８－１－１．チャンネル切替 ...... 12

８－１－２．最高値／最低値表示 ...... 13

８－１－３．サーチ機能 ...... 14

８－１－４．表示更新速度設定 ...... 15

８－１－５．アラーム機能 ...... 15

８－１－６．トレンド表示について ...... 23

８－１－７．システムリセットの方法 ...... 23

８－２．子機の操作方法 ...... 24

８－２－１．チャンネル設定 ...... 24

８－２－２．測定および送信 ...... 24

８－２－３．送信表示ＬＥＤについて ...... 24

８－２－４．温度プローブ ...... 24

８－２－５．システムリセットの方法 ...... 25

８－３．親機と子機の同期手順 ...... 25

８－３－１．基本的な同期手順 ...... 25

８－３－２．子機を追加する場合の同期手順 ...... 27

８－３－３．親機または子機の電池交換を行う場合 ...... 28

８－４．アンテナについて ...... 29

８－５．電波マークについて ...... 29

９．エラー表示 ...... 30

１０．メンテナンス ...... 31

１１．こんなときには ...... 31

１２．仕様 ...... 32

１２－１．親機（AD-5663 本体） ...... 32

１２－２．子機（AD-5663-01 外部センサ） ...... 33

## １．はじめに

このたびはお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品をより効果的にご利用いただくために､ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください｡

## ２．構　　成

| モデル No. | 構成 |
|---|---|
| AD-5663 | AD5663 本体　1 台<br>AD-5663-01 外部センサ(温度プローブ 2 本付き)　1 台 |
| AD-5663-01 | 別売オプション<br>AD-5663-01 外部センサ(温度プローブ 2 本付き)　1 台 |
| AX-KO4449 | 別売オプション<br>AD-5663-01 外部センサ用温度プローブ　1 本 |
| AX-TB250 | 別売オプション<br>AD-5663 本体用 AC アダプタ　1 個 |

AD-5663 本体のみでの販売はしておりません。
本取扱説明書では、AD-5663 本体を「親機」、AD-5663-01 外部センサを「子機」と表記します。

## ３．安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
この機器を操作するときは、下記の点に注意してください。

警告表示の意味
取扱説明書および製品には､誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため､次のようなマーク表示をしています

| ⚠注意 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的傷害の発生が想定される内容を示します。 |
|---|---|

この機器を操作するときは、下記の点に注意してください

⚠注意

・修理
ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷したり機能を消失する恐れがあります。

・機器の異常
機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障中」であることを示す貼紙を機器につけるか、あるいは誤って使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

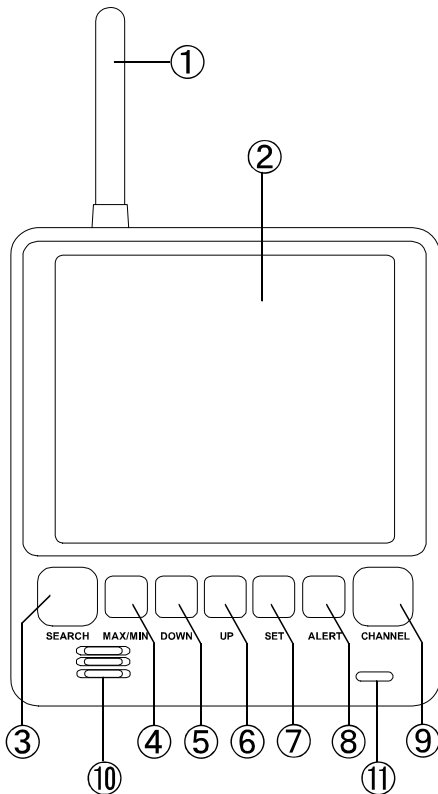
## ４．特　　徴

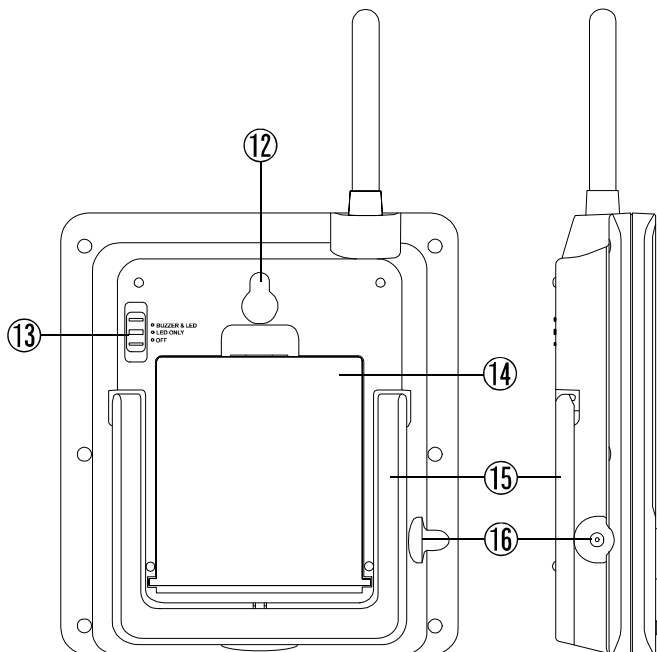
本製品は以下のような特徴を持っています。

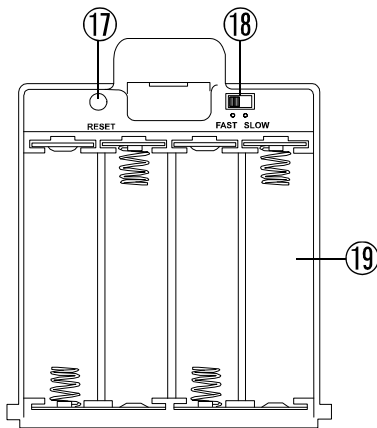
- 親機 1 台に対して最大 5 台までの子機を増設することができます。
- 子機は特定小電力を用いたワイヤレスで、見通しで約 100m まで使えます。
- 子機は、内蔵の温湿度センサで温度と湿度の測定、また 2 本のステンレスシースタイプの温度プローブで、液温や土壌温度も測定できます。
- 親機は、見やすい大型液晶で、子機の内蔵センサによる温度／相対湿度、2 本の温度プローブによる温度を同時に表示します。親機には、温度や湿度を測定するセンサは内蔵されていません。
- 子機にも液晶表示があり、設置場所で測定値を確認することができます。
- 子機の温度プローブは取り外し可能です。
- 親機で、子機により測定された最高温湿度・最低温湿度を記憶し表示します。
- 親機には、アラーム機能があり、各チャンネルの各測定値に対してそれぞれ上限アラーム／下限アラームを設定することができます。
- 卓上用、壁掛け用のどちらでもお使いいただけます。

# ５．各部の名称

## ５－１．親機

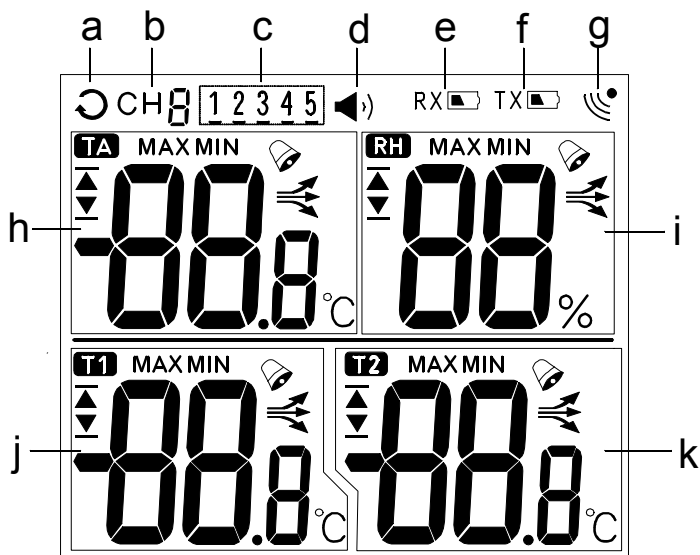
### 正面

① アンテナ
② 大型 LCD 表示部
③ [SEARCH] ボタン
④ [MAX/MIN] ボタン
⑤ [DOWN] ボタン
⑥ [UP] ボタン
⑦ [SET] ボタン
⑧ [ALERT] ボタン
⑨ [CHANNEL] ボタン
⑩ ブザー
⑪ LED ランプ(赤色)

### 裏面／左側面

⑫ 壁掛け用穴
⑬ ブザー音／LED ランプ ON/OFF スイッチ
⑭ 電池収納部
⑮ スタンド
⑯ AC アダプタジャック
(AC アダプタは別売オプションです。)

## 裏面／電池収納部

⑰ [RESET] ボタン

⑱ 表示更新速度設定スイッチ(FAST/SLOW)

⑲ 電池収納部

## LCD 表示

a. CH ローテーション表示

b. 表示チャンネル

c. アクティブチャンネル表示

d. ブザー表示

e. ローバッテリー表示(親機)

f. ローバッテリー表示(子機)

g. 電波マーク

h. 温度(TA)表示部

i. 湿度(RH)表示部

j. 温度プローブ(T1)表示部

k. 温度プローブ(T2)表示部

アラームマーク

上限アラーム表示

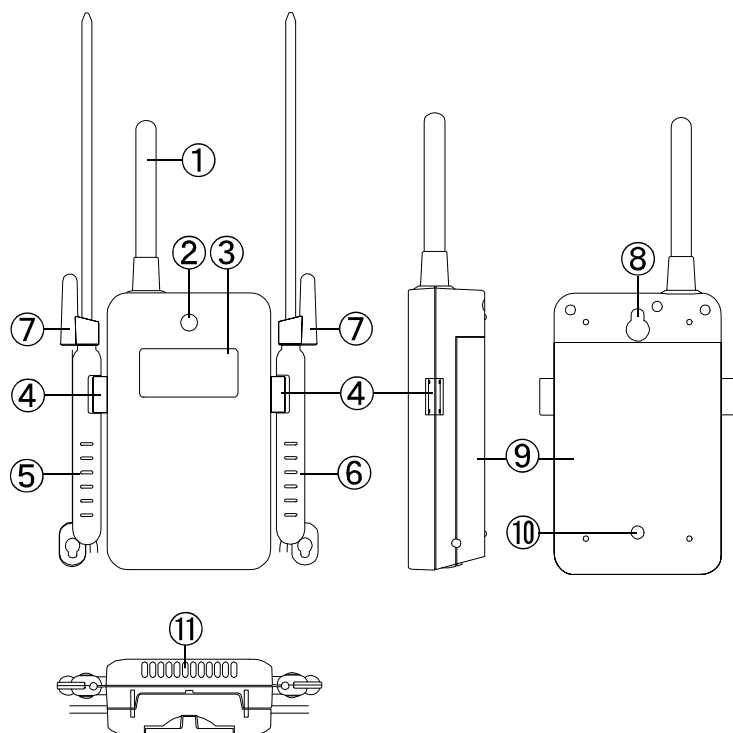
下限アラーム表示

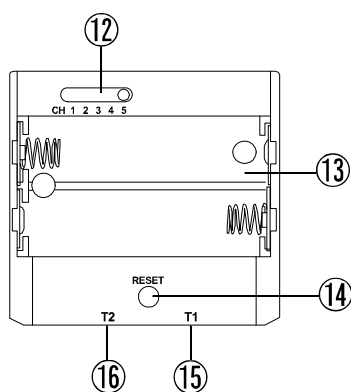
MAX 最高値表示

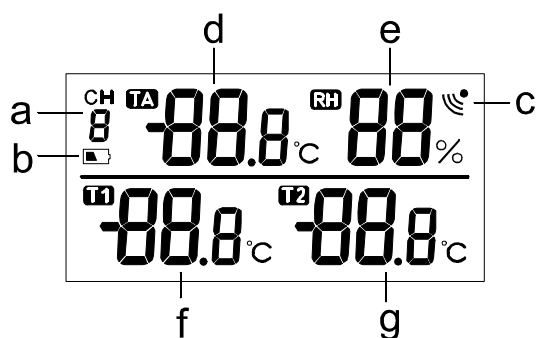
MIN 最低値表示

トレンド表示

５－２．子機

正面／右側面／裏面／底面

① アンテナ
② 外部センサ送信表示 LED
③ LCD 表示部
④ 温度プローブホルダ
⑤ 温度プローブ(T1)
⑥ 温度プローブ(T2)
⑦ プローブキャップ
⑧ 壁掛け用穴
⑨ 電池収納部
⑩ 電池カバー止めネジ
⑪ 温度(TA)／湿度(RH)測定部

電池収納部

⑫ チャンネル設定スイッチ
⑬ 電池収納部
⑭ [RESET] ボタン
⑮ 温度プローブ(T1)差込ジャック
⑯ 温度プローブ(T2)差込ジャック

LCD 表示

a. 設定チャンネル表示
b. ローバッテリー表示
c. 電波マーク
d. 温度測定値表示(内蔵)
e. 湿度測定値表示(内蔵)
f. 温度プローブ測定値(T1)
g. 温度プローブ測定値(T2)

# ６．設　　置

## ６－１．親機の設置（スタンドと壁掛け）

本製品は卓上用、壁掛け用のどちらでもご使用いただけます。

スタンド：親機裏面のスタンドを引き出して卓上用としてお使いください。
壁掛け　：親機裏面に壁掛け用の穴があります。
　　　　　ねじの頭が 4mm 程度出るように木ねじなどを壁に取り付け、製品の壁掛け用穴をねじにかけて固定してください。

## ６－２．子機の設置

本製品は卓上用、壁掛け用のどちらでもご使用いただけます。

スタンド：子機裏面のスタンドを引き出して卓上用としてお使いください。
壁掛け　：子機裏面に壁掛け用の穴があります。
　　　　　ねじの頭が 4mm 程度出るように木ねじなどを壁に取り付け、製品の壁掛け用穴をねじにかけて固定してください。

子機を室外に設置する場合、風や振動で倒れたり、落下しないように注意してください。
また、子機は温度センサ(TA)と湿度センサ(RH)がケース内部にありますので、風通しのよい場所に設置してください。地面に近い所やビニールハウスなどの壁面に近い所は誤差が大きくなる場合があります。

## ６－３．子機の測定部位について

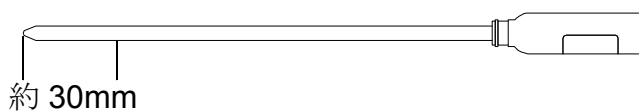
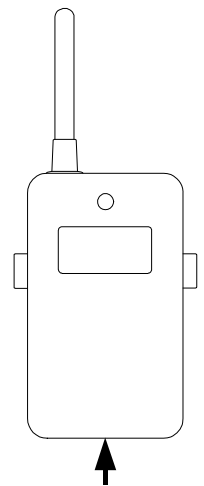
### 温度(TA)、湿度(RH)の測定部位

子機に内蔵の温度、湿度センサは、気体(設置した周辺の雰囲気)の温度、湿度測定に適しています。
温度、湿度センサは子機の下部にあります。(右図の矢印で示す部分)

### 温度プローブ(T1/T2)の測定部位

子機に接続されているステンレスシースの温度プローブは、気体・液体および半固形物の温度測定に適しています。

また、温度変化に対して感度を有している部分は、センサ先端部分のみで、正確な温度測定を行うには、先端より少なくとも 30mm 程度までの部分が、被測定物の中に入っている必要があります。
この温度プローブは、表面温度測定には適していません。
温度プローブの測定範囲は、−40℃～70℃です。測定範囲外での使用は温度プローブが破損する恐れがありますので、測定範囲を超えないようにしてください。

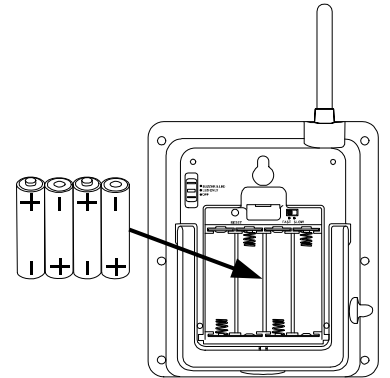
## ⚠注意

- 強い衝撃や振動、電気的ショックを与えないでください。故障の原因になります。
- 本製品は防水構造になっておりません。雨や水がかかるような場所では、使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や密閉された車内、ストーブなどの暖房器具の近く、雨・雪の直接かかる場所を避けて設置してください。本製品の動作温度範囲は 0℃～50℃です。この温度範囲を超えて使用した場合は、故障の原因になります。
- 暑い所から寒い所へ、また寒い所から暑い所への急な移動は避けてください。急激な温度変化により、内部に水滴が付き、故障の原因になります。
- 湿気やほこりの多い場所では故障の原因になります。本製品の動作湿度範囲は 90%RH 以下です。また内部に水が入ると、故障の原因になります。本製品の周辺には水の入ったものを置かないでください。
- 強い磁場や電界のある場所(テレビや IH 調理器具、電子レンジなど)で使用すると、本製品が影響を受け正常に動作しない恐れがあります。そのような場所でのご使用は避けてください。
- 危険防止のため、引火性のガスがある場所では使用しないでください。
- 子機を低温で使用する場合、使用する電池の性能によっては電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。
- 子機の測定間隔(表示の更新)は 20 秒毎です。また、温度(TA)と湿度(RH)の測定をしているセンサは、内部にあります。正確な測定をするためには、センサが周囲環境になじむまで(特に温度や湿度の変化が大きかったり、測定場所を変えた場合など)、時間が掛かる場合があります。測定に掛かる時間は、測定する環境や条件により異なります。温度／湿度の表示値が安定してから 2～3 分経過した頃を目安にしてください。
- 温度(TA)、湿度(RH)のセンサは粉塵やタバコの煙、各種ガス等のある悪環境で使用しないでください。センサ表面に不純物や汚れが付着し、短期間でセンサが劣化し、精度が落ちる場合があります。
- 親機と子機の間に遮蔽物等があると、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。
- 雨や雪、霧などの悪天候の場合には、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。
- 本製品は、電波法の技術基準に適合し、型式認証を取得しています。本製品を改造して使用することは法律で禁止されています。
- 通常のご使用状態では混信しませんが、複数の子機を同時に近接した位置に設置したり、同一の送信タイミングや同一チャンネル設定で使用したりすると、混信する場合があります。

## ７．電池の交換方法

ご購入時、電池収納部には電池が入っていません。以下の手順で電池を入れてからお使いください。
また、「８－３．親機と子機の同期手順」も併せてお読みください。

### ７－１．親機の電池交換

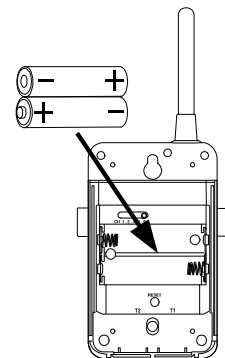
表示が出なくなったり、薄くなったり、温度表示部上側にRXの表示が出た場合には下記の方法で親機の電池を交換してください。親機には、単3形乾電池を4本使用しています。

1. 親機の裏側の電池フタを開けてください。
2. 古い電池を取り出してください。
3. 新しい電池を電池ホルダの表示に合わせて正しく入れてください。
4. 電池フタを元に戻してください。

別売オプションのACアダプタ(AX-TB250)をご使用の場合も、電池を入れておくと、停電時やACアダプタを誤って外してしまったときに、自動で電池での動作に切り替わり、親機の電源が切れることを防止できます。
ただし、電池を入れたまま放置すると、液漏れなどの恐れがありますので、数ヶ月に1回電池の状態を確認し、1年毎に新品の電池に交換してください。

### ７－２．子機の電池交換

表示が出なくなったり、薄くなったり、親機の温度表示部上側にTXの表示が出た場合、または子機の表示部左側にの表示が出た場合には下記の方法で電池を交換してください。
子機には、単3形乾電池を2本使用しています。

1. 子機の裏側の電池フタをとめているネジを＋ドライバでゆるめて、電池フタを開けてください。(ネジは電池フタから外れないようになっています。)
2. 古い電池を取り出してください。
3. 新しい電池を電池ホルダの表示に合わせて正しく入れてください。
4. 電池フタを元に戻し、ネジを締めてください。

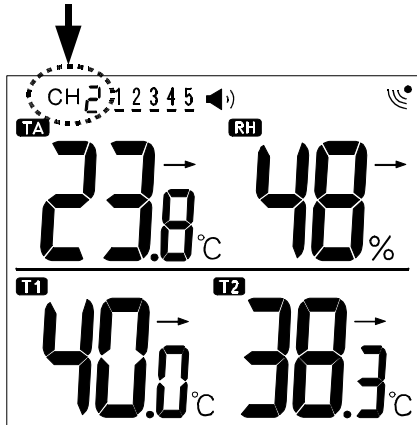
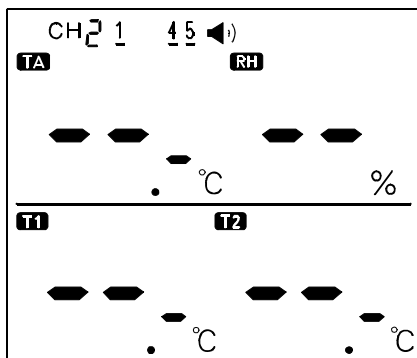
**注意:** **電池フタのネジは強い力で引っ張ると外れてしまう恐れがあります。ネジが外れて紛失した場合、ネジ単品や電池フタ単体では販売しておりませんので、紛失しないようご注意ください。**

電池使用上のお願い

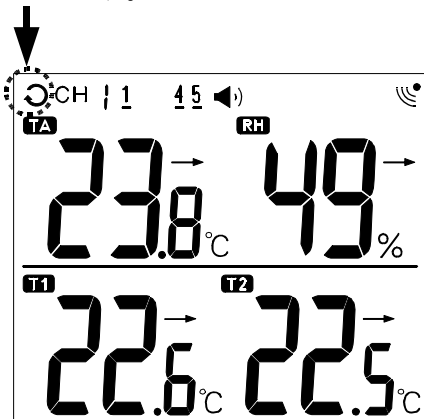
- 電池は必ず指定のものを使用し、親機は 4 本、子機は 2 本同時に新品の電池に交換してください。
- 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- 環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いします。
- 付属の電池はモニタ用なので電池寿命が短い場合があります。仕様に記載されている電池寿命は、周囲温度 25℃時で新品の電池を使用し、アラーム(ブザー、LED ランプ)を使わない場合のものです。周囲温度やアラームの使用頻度によっては、極端に電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池容量の少ない電池を入れたときや使用中に電池容量が少なくなってくると、正常な表示や動作ができなくなる場合があります。このような場合は、新品の電池に交換してください。
- 乾電池の＋－を逆に入れると正常に動作しないばかりか、故障の原因となります。
- 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 電池を交換するとリセットされるため最高値・最低値の記憶は失われます。
- 正しく動作させるために、親機に電池を挿入した後、子機に電池を挿入してください。
- 親機と子機の電池を交換すると、通信ができなくなります。「８－３．親機と子機の同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。

# ８． 操作方法

## ８－１．親機の操作方法

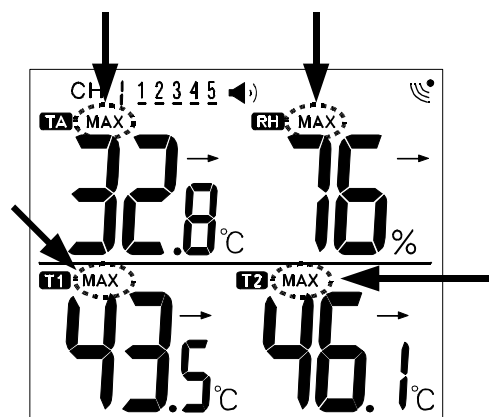
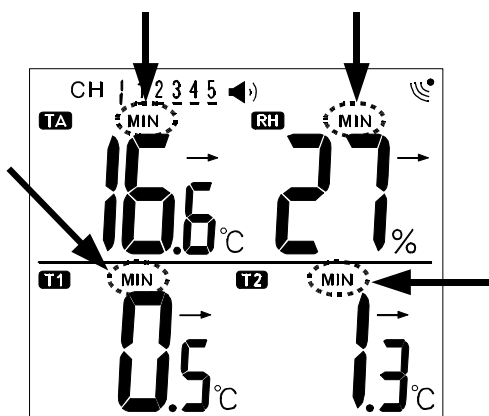
### ８－１－１．チャンネル切替

■ 親機の [CHANNEL] ボタンを押す毎に、表示されるチャンネルを
「１→２→３→４→５→１・・・」の順で切り替えます。
表示されているチャンネルの番号は、表示部左上に表示します。

子機の接続がない空きチャンネルの場合は、各測定値がバー表示になります。

また、複数の子機を接続している場合、[CHANNEL] ボタンを 3 秒以上押し続けると、接続している子機の表示を約 5 秒ずつ表示させるローテーション表示モードに入ります。
ローテーション表示モードに入ると、本体の表示部左上に が表示されます。

以下の表示例では、
CH1 が 5 秒表示→CH4 が 5 秒表示→CH5 が 5 秒表示→CH1 が 5 秒表示・・・・・
となります。

ローテーション表示を解除するには、[CHANNEL] ボタンを 1 回押してください。

## ８－１－２．最高値／最低値表示

本製品には、電源を入れたり、リセットしてからの各表示値の最高値と最低値を記憶する機能があります。

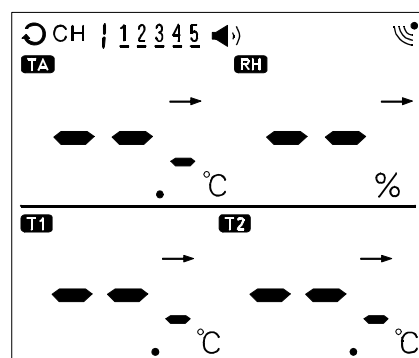
■ 親機の [MAX/MIN] ボタンを押す毎に、表示される値を
「通常表示値→最高値→最低値→通常表示値」の順で切り替えます。

各表示値の上側に「**MAX**」と表示されているときは各表示値の最高値を表示しています。

「**MIN**」と表示されているときは各表示値の最低値を表示しています。

「**MAX**」「**MIN**」の表示がないときは現在の温度(子機からの最新の通信データ)を表示します。

最高値、または最低値を表示したまま何も操作をしないと、約 30 秒後に通常表示に戻ります。

表示状態とは関係なく、各表示値の最高値・最低値は更新されています。

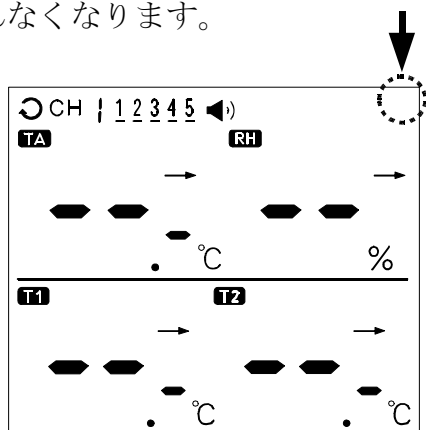
## 最高値・最低値のリセット

1. 最高値・最低値をリセットするチャンネルを表示させます。
2. 通常表示時や最高値、最低値を表示しているときに [MAX/MIN] ボタンを 3 秒以上押し続けてください。各表示値がバー表示になり、最高値・最低値がリセットされ、新たに記録を開始します。

**注意: 表示されていないチャンネルの最高値・最低値はリセットされません。必要に応じてチャンネル毎にリセットしてください。**

## ８－１－３．サーチ機能

サーチ機能は親機と子機との接続を回復させます。
使用中に親機と子機の同期がはずれ、親機に子機の測定値が表示されない場合、[SEARCH] ボタンを 3 秒以上押し続けてください。
表示部右上の電波マークが以下のように点灯し、電波サーチモードに入ります。

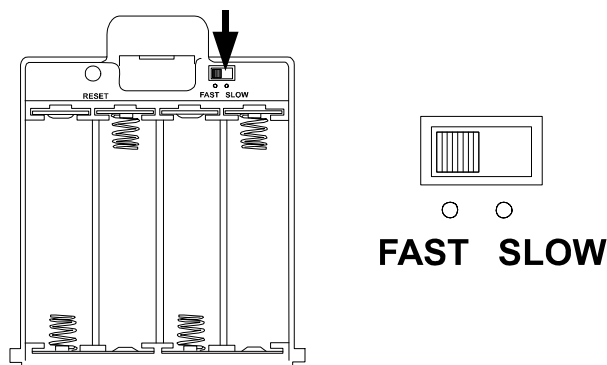
電波サーチモードは 3 分間継続し、この間に子機からの信号を受信し、同期を回復します。
電波サーチモード中に、もう一度 [SEARCH] ボタンを押すと、強制的にサーチモードを終了し、通常表示に戻ります。

子機からの信号を受信できない場合、本体の表示はバー表示になり、右上の電波マークが表示されなくなります。

子機からの信号が受信できなくなったときは、以下のことを確認してください。
・親機と子機の電池残量は十分あるか？
・親機と子機の間に電波を遮断するようなものがないか？
・親機と子機のアンテナを上向きにして設置されているか？
・本製品または近い周波数帯の電波を発する機器が近隣で使われていないか？（混信により正常な通信ができない場合があります。）

注意　・[SEARCH] ボタンを押して電波サーチモードに入ったときに、電波をサーチするのは、[SEARCH] ボタン押したときに表示していたチャンネルのみです。また、過去に表示されていた子機の電波のみを受信します。
子機の電池を入れ替えたり、リセットした場合、また新たな子機からの信号は受信できません。このような場合は、「８－３．親機と子機の同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。
・[SEARCH] ボタンを押して電波サーチモードに入ったときには、チャンネルの切り替えはできません。チャンネルを切り替える場合は、サーチモードが終わるまで待つか、強制的に終了させてください。

## ８－１－４．表示更新速度設定

子機からの信号の受信間隔を設定します。

親機の電池収納部の上部に切替スイッチがあります。スイッチを左側にすると FAST で 2 分毎に、右側にすると SLOW で 4 分毎に子機からの信号を受信し、表示を更新します。

## ８－１－５．アラーム機能

親機は、温度(TA)、湿度(RH)、温度プローブ(T1)、温度プローブ(T2)のそれぞれの表示値に対し上限／下限アラームを設定できます。

親機に表示していないチャンネルでもアラームは動作します。

電池を入れ替えたり、[RESET] ボタンを押して本体をリセットしてもアラーム設定値は保持されます。

アラームは親機のみの機能で、子機にはアラーム機能はありません。

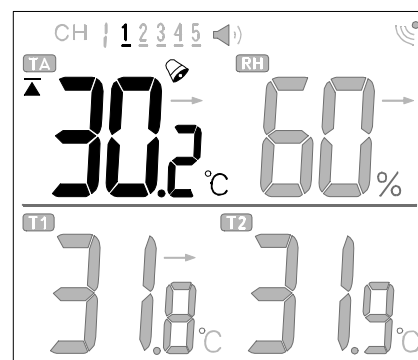
### 上限アラーム機能

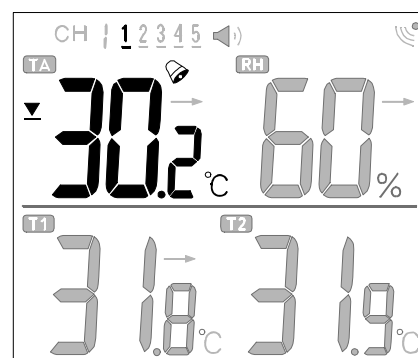
上限アラーム機能とは、各表示値がアラーム設定値を上回ると、表示値とその右側のアラームマーク 、表示値の左側の上限アラームを示すマーク が点滅し、ブザー音と LED ランプでお知らせするものです。

ブザー音と LED ランプは最初に設定値を上回ったときに約 30 秒間、その後は 4 分毎にブザー音が「ピピピ」と 1 回、LED ランプが 1 回点滅してお知らせします。

表示値とその右側のアラームマーク 、表示値の左側の上限アラームを示すマーク と表示上部のアクティブチャンネル表示は、設定値を上回っている間は、ずっと点滅します。（右の表示例で黒で強調した箇所が点滅します。）

最初に設定値を上回ったときの 30 秒間のアラーム動作（ブザーと LED ランプ）の間に、いずれかのボタンを押すとブザー音と LED ランプの点滅が止まります。（表示の点滅と 4 分に 1 回のアラーム動作は止まりません。）

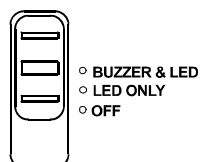
親機裏面のブザー／LED ランプのスイッチの設定によっては、ブザーと LED ランプの動作は異なります。上記は、一番上の「BUZZER & LED」にセットした場合の動作です。

## 下限アラーム機能

下限アラーム機能とは、各表示値がアラーム設定値を下回ると、表示値とその右側のアラームマーク 、表示値の左側の下限アラームを示すマーク ▼ が点滅し、ブザー音とLED ランプでお知らせするものです。
ブザー音と LED ランプは最初に設定値を下回ったときに約30 秒間、その後は 4 分毎にブザー音が「ピピピ」と 1 回、LED ランプが 1 回点滅してお知らせします。
表示値とその右側のアラームマーク 、表示値の左側の上限アラームを示すマーク ▼ と表示上部のアクティブチャンネル表示は、設定値を下回っている間は、ずっと点滅します。（右の表示例で黒で強調した箇所が点滅します。）
最初に設定値を下回ったときの 30 秒間のアラーム動作（ブザーと LED ランプ）の間に、いずれかのボタンを押すとブザー音と LED ランプの点滅が止まります。（表示の点滅と 4 分に 1 回のアラーム動作は止まりません。）
親機裏面のブザー／LED ランプのスイッチの設定によっては、ブザーと LED ランプの動作は異なります。上記は、一番上の「BUZZER & LED」にセットした場合の動作です。

## アラームの設定範囲

アラームの設定範囲は、以下の通りです。
温度(TA)：0.0℃～50.0℃／0.5℃刻みで設定可能
湿度(RH)：5%RH～99%RH／1%RH 刻みで設定可能
温度プローブ(T1)：−40.0℃～70.0℃／0.5℃刻みで設定可能
温度プローブ(T2)：−40.0℃～70.0℃／0.5℃刻みで設定可能

**注意：下限アラームの設定値は、上限アラームの設定値以上に設定できません。また上限アラームの設定値は、下限アラームの設定値以下には設定できません。**
**例として、温度(TA)の上限アラームを 30.0℃に設定すると、下限アラームの設定可能範囲は 0.0℃～29.5℃になります。また、下限アラームを 20.0℃に設定すると、上限アラームの設定可能範囲は 20.5℃～50.0℃になります。**

## ブザー音と LED ランプのオン／オフ

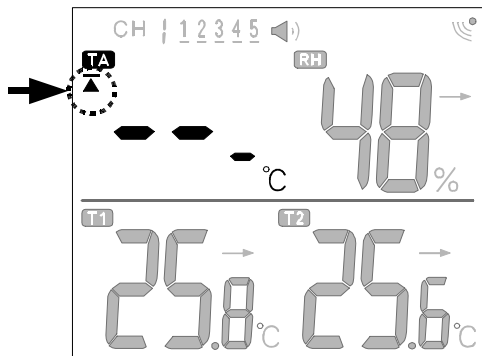
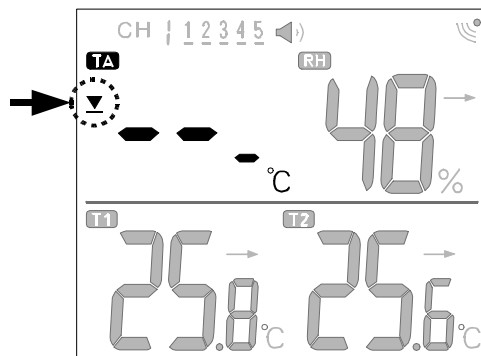
親機裏面のスイッチにより、アラーム動作時のブザー音と LED ランプのオン／オフができます。

スイッチを一番上の「BUZZER & LED」にセットすると、アラーム動作時にブザーが鳴り、LED ランプが点滅します。
ここにセットしたときのみ、本体の表示部上側にブザーのマーク が表示されます。

スイッチを真ん中の「LED ONLY」にセットすると、アラーム動作時にブザーが鳴らず、LED ランプのみが点滅します。

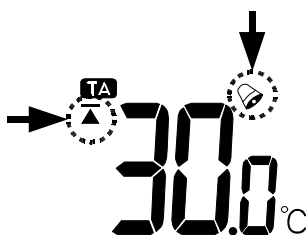
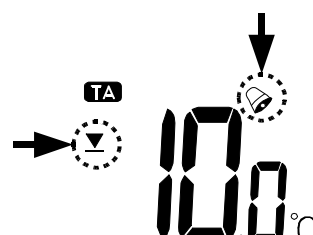
スイッチを一番下の「OFF」にセットすると、アラーム動作時にブザーが鳴らず、LED ランプも点滅しません。
アラーム時には、該当する項目の表示が点滅してお知らせします。

## アラームの設定方法

アラームの設定は、以下の手順で行います。
アラームはチャンネル毎に設定してください。

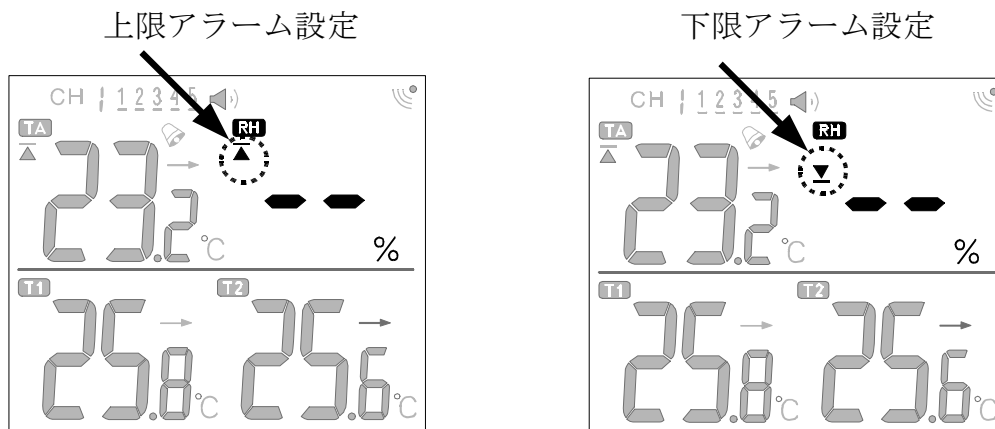
1. アラーム設定するチャンネルに切り替えてください。
   なお、アラーム設定モードに入ると、チャンネルの切り替えはできません。
2. **温度(TA)の上限／下限アラーム設定(設定可能範囲：0.0℃～50.0℃／0.5℃刻みで設定可能)**
   [SET] ボタンを 3 秒以上押し続けると、温度(TA) 表示部が点滅して、温度(TA)の上限アラーム設定モードに入ります。温度(TA)の上限アラーム設定と下限アラーム設定を切り替えるには、[ALERT] ボタンを押してください。

上限アラーム設定

下限アラーム設定

[UP] ボタンか [DOWN] ボタンを押して、温度(TA)の上限(下限)アラームの設定をします。[UP] ボタンを押すと設定値が増加し、[DOWN] ボタンを押すと設定値が減少します。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。バー表示の状態からアラームを設定すると、温度表示の右側にアラームマークが表示されます。

上限アラーム

下限アラーム

設定した値をクリアする場合には、[MAX/MIN] ボタンを 1 回押してください。表示されている温度(TA)の上限(下限)アラーム設定値のみがクリアされ、バー表示になります。

3. **湿度(RH)の上限／下限アラーム設定(設定可能範囲 : 5%RH～99%RH／1%RH 刻みで設定可能)**
温度(TA)の上限(または下限)アラーム設定画面の表示中に、[SET] ボタンを 1 回押すと湿度(RH)の上限(または下限)アラーム設定モードに入ります。湿度(RH)の上限アラーム設定と下限アラーム設定を切り替えるには、[ALERT] ボタンを押してください。

上限アラーム設定　　　　　　　　下限アラーム設定

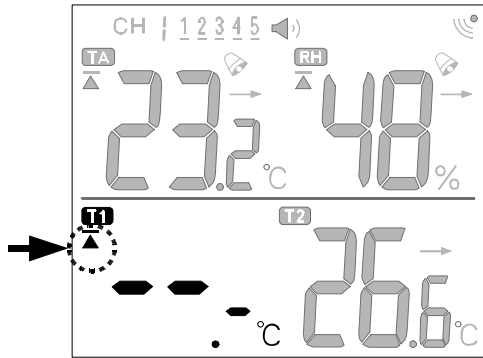
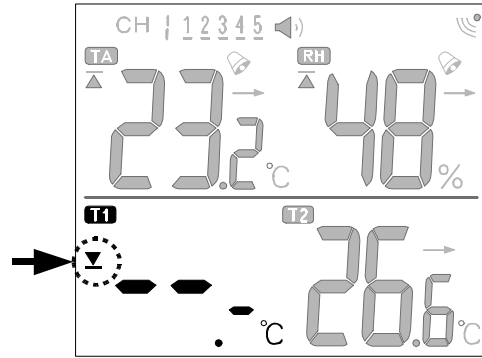
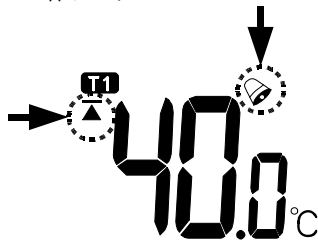
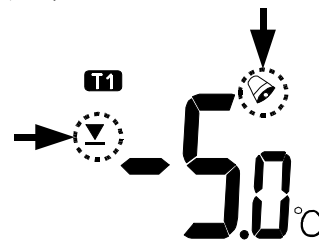
[UP] ボタンか [DOWN] ボタンを押して、湿度(RH)の上限(下限)アラームの設定をします。[UP] ボタンを押すと設定値が増加し、[DOWN] ボタンを押すと設定値が減少します。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。バー表示の状態からアラームを設定すると、湿度表示の右側にアラームマークが表示されます。

上限アラーム　　　　　　　　下限アラーム

設定した値をクリアする場合には、[MAX/MIN] ボタンを 1 回押してください。表示されている湿度(RH)の上限(下限)アラーム設定値のみがクリアされ、バー表示になります。

4. **温度プローブ(T1)の上限／下限アラーム設定(設定可能範囲 : ー40℃～70℃／0.5℃刻みで設定可能)**
子機の T1 端子に温度プローブが接続されている場合は、湿度(RH)の上限(下限)アラーム設定画面の表示中に、[SET] ボタンを 1 回押すと温度プローブ(T1)の上限(下限)アラーム設定モードに入ります。
温度プローブ(T1)の上限アラーム設定と下限アラーム設定を切り替えるには、[ALERT] ボタンを押してください。

子機の T1 端子に温度プローブが未接続の場合は、表示が「OPn」になり、T1 のアラーム設定モードに入らず、温度プローブ(T2)のアラーム設定へスキップします。

上限アラーム設定

下限アラーム設定

[UP] ボタンか [DOWN] ボタンを押して、温度プローブ(T1)の上限(下限)アラームの設定をします。[UP] ボタンを押すと設定値が増加し、[DOWN] ボタンを押すと設定値が減少します。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。バー表示の状態からアラームを設定すると、T1 表示の右側にアラームマークが表示されます。

上限アラーム

下限アラーム

設定した値をクリアする場合には、[MAX/MIN] ボタンを 1 回押してください。表示されている温度プローブ(T1)の上限(下限)アラーム設定値のみがクリアされ、バー表示になります。

**5. 温度プローブ(T2)の上限／下限アラーム設定(設定可能範囲：ー40℃～70℃／0.5℃刻みで設定可能)**

子機の T2 端子に温度プローブが接続されている場合は、

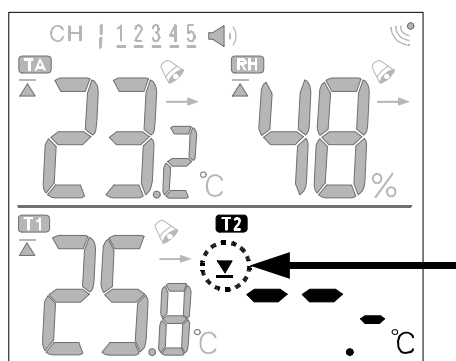
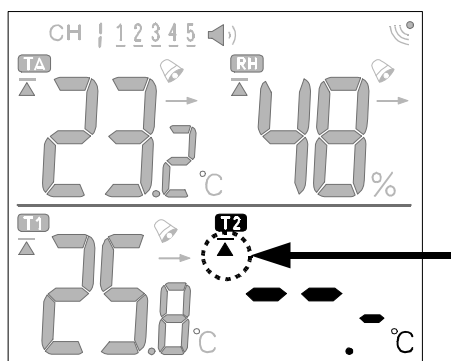
T1 が接続されていれば温度プローブ(T1)のアラーム設定画面、

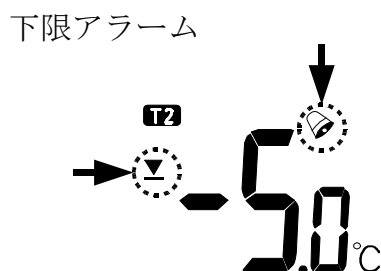
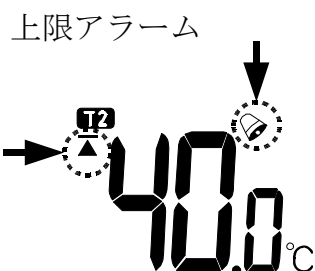
T1 が未接続なら湿度(RH)の上限(下限)アラーム設定画面

の表示中に、[SET] ボタンを 1 回押すと温度プローブ(T2)の上限(下限)アラーム設定モードに入ります。

温度プローブ(T2)の上限アラーム設定と下限アラーム設定を切り替えるには、[ALERT] ボタンを押してください。

子機の T2 端子に温度プローブが未接続の場合は、表示が「OPn」になり、T2 のアラーム設定モードに入らず、アラーム設定モードを抜け、通常表示に戻ります。

上限アラーム設定　　　　　　　　　　下限アラーム設定

[UP] ボタンか [DOWN] ボタンを押して、温度プローブ(T2)の上限(下限)アラームの設定をします。[UP] ボタンを押すと設定値が増加し、[DOWN] ボタンを押すと設定値が減少します。またボタンを押し続けると、数字が連続で変わります。バー表示の状態からアラームを設定すると、T2 表示の右側にアラームマークが表示されます。

上限アラーム　　　　　　　　　　下限アラーム

設定した値をクリアする場合には、[MAX/MIN] ボタンを 1 回押してください。表示されている温度プローブ(T2)の上限(下限)アラーム設定値のみがクリアされ、バー表示になります。

6. 温度プローブ(T2)の上限／下限アラーム設定が完了し、[SET] ボタンを押すとアラーム設定モードを抜けて、通常表示に戻ります。

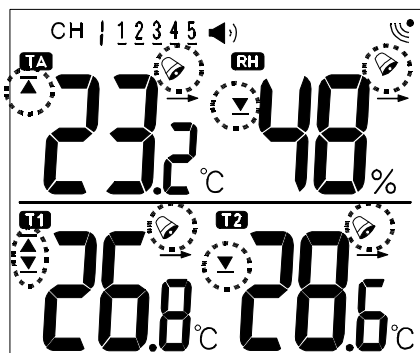
注意
- アラーム設定中に、未操作のまま 1 分経過すると、アラーム設定モードを抜けて、通常表示に戻ります。
- アラームはチャンネル毎に設定する必要があります。
- 子機の信号を受信しているときにアラーム設定を行い、その後、子機からの信号を受信できなくなった場合、アラームは動作しません。
- 子機からの信号を受信していないチャンネルでは、アラーム設定モードに入れません。アラーム設定は、受信済みのチャンネルのみで有効です。

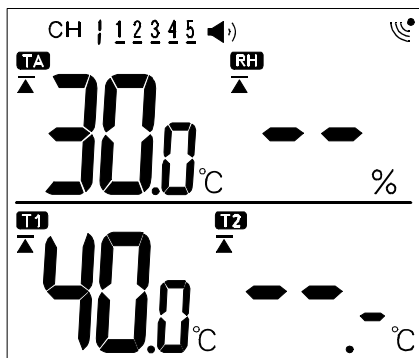
## 表示しているチャンネルのアラーム設定をまとめてクリアする場合

アラーム設定モード中に、[MAX/MIN] ボタンを 3 秒以上押し続けると、各表示値がバー表示になり、アラーム設定中のチャンネルに設定されていたアラーム設定が全てクリアできます。(表示していないチャンネルのアラーム設定は、クリアされません。)

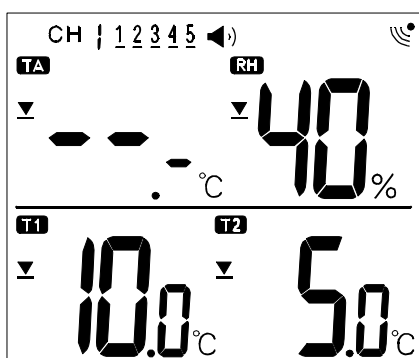
## アラームの設定内容の確認

アラームの設定内容は以下の手順で確認できます。

1. アラームの設定内容を確認するチャンネルに切り替えてください。
2. 通常表示のとき、各表示値の右側にアラームマークが表示されていると、アラーム設定されていることを示しています。

左の表示例では､○で囲んだ部分がアラームに関する表示で、
CH1 が表示
温度(TA)の上限アラーム
湿度(RH)の下限アラーム
温度プローブ(T1)の上限アラーム／下限アラーム
温度プローブ(T2)の下限アラーム
が設定されています。

3. 通常表示のときに [SET] ボタンを 1 回押すと、各表示値の上限アラームの設定値が表示されます。

左の表示例では、
CH1 の上限アラーム
温度(TA)：30.0℃
湿度(RH)：未設定
温度プローブ(T1)：40.0℃
温度プローブ(T2)：未設定
の上限アラーム設定されていることを示しています。

上限アラームの確認画面は、5 秒間表示した後、自動で通常表示に戻ります。

4. 通常表示のときに [SET] ボタンを 2 回押すと、各表示値の下限アラームの設定値が表示されます。

左の表示例では、
CH1 の下限アラーム
温度(TA)：未設定
湿度(RH)：40%RH
温度プローブ(T1)：10.0℃
温度プローブ(T2)：5.0℃
の下限アラーム設定されていることを示しています。

下限アラームの確認画面は、5 秒間表示した後、自動で通常表示に戻ります。

## アラーム設定の有効⇔無効の設定

本製品には、アラーム設定をクリアすることなく、アラームを有効（動作させる）⇔アラームを無効（動作させない）の設定ができます。

1. アラーム設定を有効または無効にするチャンネルに切り替えてください。
2. [ALERT] ボタンを 3 秒以上長押しする毎に、アラーム設定の有効⇔無効の切り替えができます。アラーム設定が有効になるとアラームマーク と ▲ か ▼ のマークが表示されます。

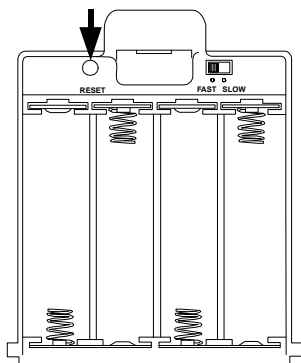
注意
・アラーム設定されていないチャンネルでは切り替えはできません。
・アラーム設定の有効⇔無効はチャンネル毎に設定する必要があります。
・何も受信していないチャンネルや子機からの信号を受信しなくなったチャンネルではアラーム設定の有効⇔無効の切り替えはできません。

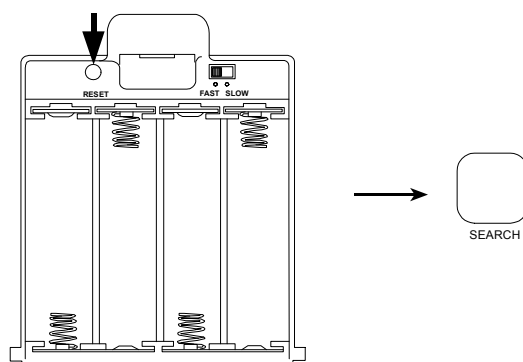
### ８－１－６．トレンド表示について

親機の各表示値の右側に 3 種類の矢印 があり、各表示値の過去の表示値と比較して、上昇しているか、下降しているか、平衡状態かの傾向(トレンド)を示します。
電池を入れて、子機の信号を受信した直後は、 が表示されます。
その後、
温度(TA/T1/T2)の変化が＋1℃以上、湿度(RH)の変化が＋5%RH 以上大きくなると、 の表示
温度(TA/T1/T2)の変化が－1℃以上、湿度(RH)の変化が－5%RH 以上小さくなると、 の表示
温度(TA/T1/T2)の変化が±1℃以内、湿度(RH)の変化が±5%RH 以内の状態が 1 時間続くと、 の表示に切り替わります。

### ８－１－７．システムリセットの方法

万が一、親機が正しく動作しなくなったときは、システムリセットすることができます。

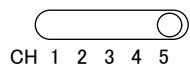
親機裏面の電池カバーを開けて、先の細いとがったものを [RESET] ボタンの穴に差し込み、[RESET] ボタンを 1 回押してください。

親機がリセットされ、記録していた最高値・最低値や通信していた子機の情報がリセットされます。「８－３．親機と子機の同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。親機の [RESET] ボタンのみを押してリセットした場合、アラーム設定値は保持されます。

アラーム設定値もクリアするには、以下の手順で行ってください。
これは、工場出荷時の設定に戻すためのリセットです。
親機裏面の電池カバーを開けて、先の細いとがったものを [RESET] ボタンの穴に差し込み、[RESET] ボタンを 1 回押してください。[RESET] ボタンを押したらすぐに親機表面の [SEARCH] ボタンを、温度(TA) 表示部に「CLr」と表示されるまで押し続けてください。「CLr」と表示されたら [SEARCH] ボタンから手を離してください。以上で工場出荷時設定に戻ります。

工場出荷時設定に戻すと、記憶していたアラーム設定値や最高値・最低値、通信していた子機の情報がリセットされます。「８－３．親機と子機の同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定、アラームの再設定をしてください。

## ８－２．子機の操作方法

### ８－２－１．チャンネル設定

子機裏面の電池カバーを外し、チャンネル設定スイッチでチャンネルを設定します。

CH 1 2 3 4 5

チャンネル設定をしたら、変更を有効にするため、[RESET] ボタンを押すか電池を入れ直してください。さらに「８－３．親機と子機の同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。

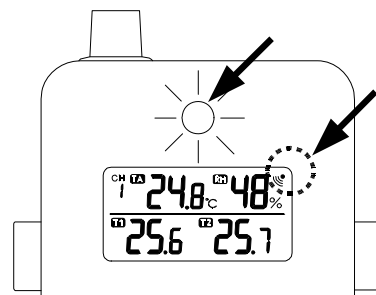
### ８－２－２．測定および送信

子機に電池を入れたり、リセットしたりすると、最初の 2 分間は約 15 秒毎に、その後は約 2 分毎(設定したチャンネルにより異なります。※１)に自動的に測定値を送信します。

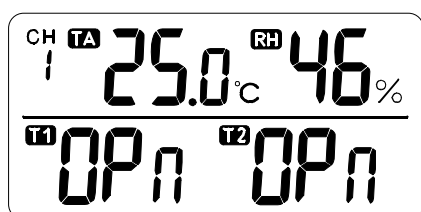
※１ 混信を防止するため、チャンネル毎に送信間隔をずらしています。
各チャンネルの送信間隔は、
CH1：約 2 分 1 秒／CH2：約 2 分 3 秒／CH3：約 2 分 5 秒／CH4：約 2 分 7 秒／CH5：約 2 分 9 秒です。

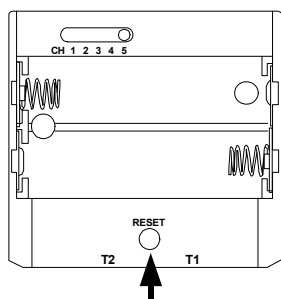
測定値を送信する間隔は、親機の [FAST/SLOW] スイッチの設定とは関係なく上記のタイミングで送信されます。
子機の温度と湿度の測定は約 20 秒毎に行われています。
送信のタイミングによっては、送信直後の子機の表示と受信直後の親機の表示が異なる場合もあります。

### ８－２－３．送信表示ＬＥＤについて

子機の LED は、電源が入った状態でも常時点灯することはありません。これは電池の消耗を防ぐためで、約2分間に一度、信号を送信する際に一時的に点灯します。また送信の際、子機の表示部右上の電波マークも点灯します。

### ８－２－４．温度プローブ

子機には、T1 と T2 の 2 本の温度プローブを接続することができます。
温度プローブ接続時には、測定値が表示されますが、未接続時には「OPn」と表示されます。

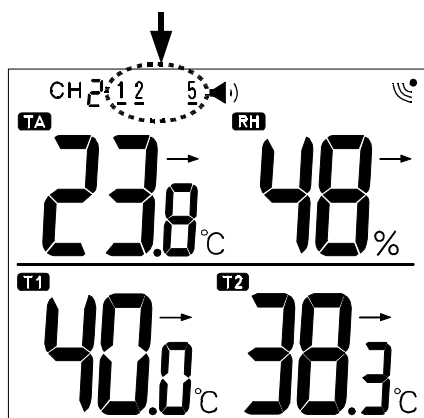
子機の表示例

### ８－２－５．システムリセットの方法

万が一、子機が正しく動作しなくなったときは、システムリセットすることができます。
子機裏面の電池カバーを外し、先の細いとがったものを [RESET] ボタンの穴に差し込み、[RESET] ボタンを 1 回押してください。

子機をリセットした場合、「８－３．親機と子機の同期手順」に従い、親機との通信の再設定をしてください。

## ８－３．親機と子機の同期手順

### ８－３－１．基本的な同期手順

はじめに、近隣で同様の製品を使用していないか事前に確認を行い、使用上影響がないことを確認します。

1. 親機の電池カバーを開けて、電池を入れます。「電池の交換方法」参照。
   このとき子機に電池は入れないでください。
2. 約 10 分間そのまま放置します。
3. 親機の [CHANNEL] ボタンを押し、表示チャンネルを「１→２→３→４→５」と切り替えていき、子機より送信された測定値の有無を確認します。
   近隣で使用されているチャンネルは、各表示値にバー表示以外の数値が表示されます。また下の表示例で○で囲んだ部分にチャンネル番号が表示されていると、そのチャンネルは近隣で使われていることを示しています。

4. 使用する子機のチャンネル設定スイッチを上記で確認した空きチャンネル(表示のないチャンネル)にセットします。(3.で測定値が表示されたチャンネルは使用中なので選択しないでください。)

**注意：近隣で既に使われているチャンネルがある場合、そのチャンネルは本体に表示されてしまいます。無関係の子機の表示をさせたくない場合は、以下の方法で設定を行ってください。**

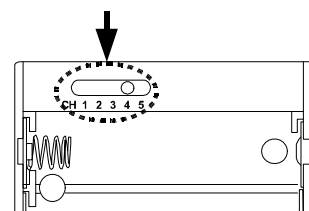
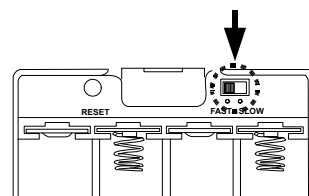
## 空きチャンネルがなかった場合、または無関係の子機の信号を表示させたくない場合

他の子機の電波が入らない場所へ親機と子機を移動し、子機のチャンネルを設定し、次の 5.以降の同期操作を行ってください。(一度親機に使用する子機が登録されると、他の子機からの混信を防ぐことができます。ただし、電池を外したり、[RESET] ボタンを押したりすると、登録された子機の情報はクリアされますので、親機と子機との通信の再設定をしてください。)

次に親機と子機との同期を行います。

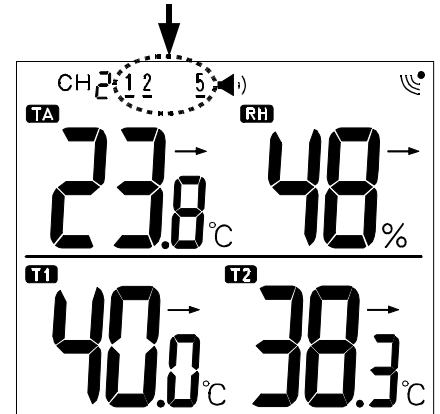
5. 親機と子機の電池を外します。
6. 親機の電池収納部にある [FAST/SLOW] スイッチを設定します。
   「FAST」に設定すると約 2 分毎、「SLOW」に設定すると約 4 分毎に子機からの信号を受信し､表示が更新されます。
   「SLOW」(4 分毎)に設定すると、親機の電池寿命が長くなります。

7. 子機の電池収納部にあるチャンネル設定スイッチでチャンネル設定をします。
   4.で確認した空きチャンネルに設定してください。
   右の設定例は CH4 に設定した場合です。
   複数台の子機をお使いの場合は、同じチャンネルに設定せずに、必ず別のチャンネルに設定してください。

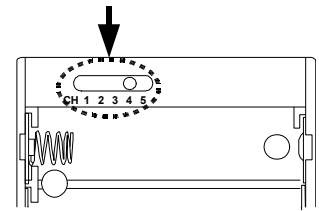
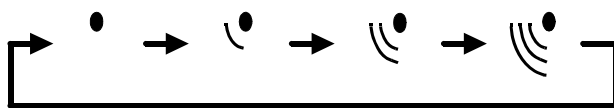
8. 必要な場合、子機の温度プローブ T1 と T2 を取り付けてください。
9. 親機に電池を入れます。(単 3 形アルカリ電池 4 本)
10. 子機に電池を入れます。(単 3 形アルカリ電池 2 本)
    複数台の子機をお使いの場合は、設定したチャンネル番号が若い順に 1 台ずつ電池を入れてください。
    また、親機に電池を入れてから 1 分以内に全ての電池を入れてください。
11. 親機に子機の温度や湿度を受信、表示することを確認します。
12. 正常な通信を確認後、子機を設置してください。

注意　・親機と子機を同期した後で、子機のチャンネル設定を変更しないでください。
　　　・親機と子機の同期は、親機と子機をすぐ近く(3m 以内)に置いて行ってください。

### ８－３－２．子機を追加する場合の同期手順

使用例：現在親機に子機 1 台を同期して使用中で、更に子機を追加する
このよう場合は以下の手順で、子機を 1 台ずつ追加してください。

1. 現在使用中の親機と子機の電池はそのままで設定してください。追加する子機には電池を入れないでください。
2. 親機の表示部上側のチャンネル表示(右の表示例の〇で囲んだ箇所)で空いているチャンネルを確認してください。
   右の例では、CH1、2、5 が使用中または近隣で使われていることを示しています。

3. 追加する子機のチャンネル設定スイッチを上記で確認した空きチャンネル(表示のないチャンネル)にセットします。

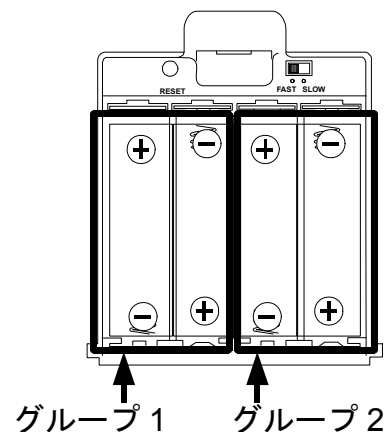
注意: **使用している子機が１～４台で、空きチャンネルがない場合は、近隣で同様の製品が使われています。そのような場合は、親機と同期させる全ての子機を「８－３－１．基本的な同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。**

4. 子機の電池収納部にあるチャンネル設定スイッチで、3. で確認した空きチャンネルに設定します。右の設定例は、CH4 に設定した場合です。

5. 必要な場合、追加する子機に温度プローブ T1 と T2 を取り付けてください。
6. 親機の表示チャンネルを、[CHANNEL] ボタンを押して、4.で設定した子機のチャンネルにしてください。
7. 親機の [SEARCH] ボタンを 3 秒以上押し続けてください。電波サーチモードに入り、表示部右上の電波マークが以下のように表示されます。

8. 親機が電波サーチモードに入ってから 1 分以内に、追加する子機に電池を入れます。(単 3 形アルカリ電池 2 本)
9. 親機に追加した子機の温度や湿度を受信、表示することを確認します。
10. 更に子機を追加する場合、1～9.の手順を繰り返してください。
11. 追加した子機を設置してください。

注意
- **1 台の親機に同期できる子機は、最大 5 台までです。**
- **子機のチャンネル設定は、別の番号に設定してください。同じチャンネルに設定すると正常に通信できません。**

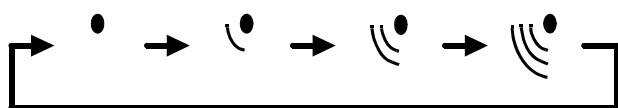
## ８－３－３．親機または子機の電池交換を行う場合

### 親機の電池交換を行う場合

親機の電池は右のように 2 本ずつ交換してください。
親機は電池を 4 本全て外して、新品に交換すると、リセットと同じ動作をします。グループ 1 とグループ 2 に分けて、2 本ずつ交換すると、リセット動作することがないため、子機との同期を取り直す必要がなくなります。

注意　・親機の電池を 4 本同時に外して交換した場合は、「８－３－１．基本的な同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。
・グループ１のみ、またはグループ２のみ電池交換を行うと、電池の消耗が早まったり、液漏れの恐れがありますので、絶対に行わないでください。必ずグループ１とグループ２は同時に新品の電池に交換してください。

### 子機の電池交換を行う場合

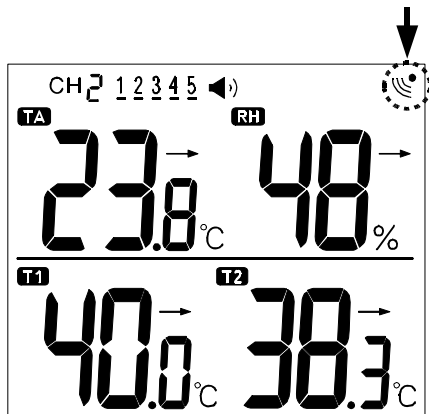
親機の表示部上側にTXの表示が出た場合は、以下の手順で子機の電池を交換し、セットアップしてください。

1. TXの表示が出た場合、表示されているチャンネルの子機の電池が消耗していることを示しています。
2. 電池が消耗している子機を設置場所から、親機の近くに持ってきて、子機の電池を外します。
3. 親機の表示チャンネルを、[CHANNEL] ボタンを押して、電池の消耗した子機のチャンネルにしてください。
4. 親機の [SEARCH] ボタンを 3 秒以上押し続けてください。電波サーチモードに入り、表示部右上の電波マークが以下のように表示されます。
5. 親機が電波サーチモードに入ってから 1 分以内に、電池の消耗した子機に電池を入れます(単 3 形アルカリ電池 2 本)
6. 親機に追加した子機の温度や湿度を受信、表示することを確認します。
7. 子機を元の場所に設置します。

注意: 上記の手順は、親機に子機のローバッテリー情報が表示されたときのみ有効です。
子機の表示部左側にの表示が出て、その情報が親機で受信されたときに有効になります。
また、親機に子機のローバッテリー表示が出ていないにもかかわらず、電池を交換した場合は、親機では受信できなくなります。そのような場合には、「８－３－１．基本的な同期手順」に従い、親機と子機との通信の再設定をしてください。

## ８－４．アンテナについて

本製品を使用する際、親機と子機のアンテナが上向きになるように設置してください。
アンテナの向きを上向き以外に設置すると、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。

## ８－５．電波マークについて

子機からの信号を受信すると、親機の表示部右上に電波マークが表示されます。

電波マークは、親機に電池を入れたり、リセットしたり、[SEARCH] ボタンを押したりした後、以下のように表示され、子機を探す動作を示す電波サーチモードに入ります。電波サーチモードは 3 分間継続します。

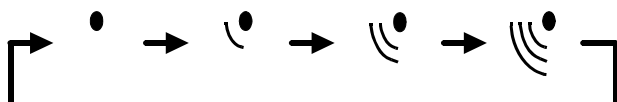
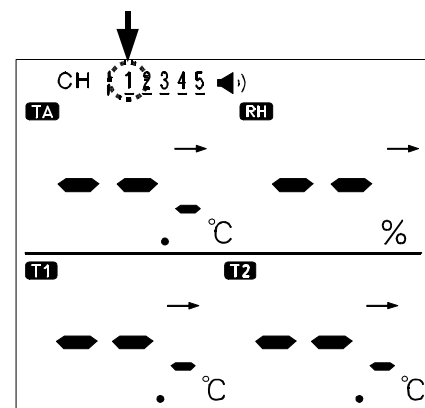
電波サーチモードが終了し、子機からの信号を正常に受信した場合は が表示され、測定値が表示されます。子機からの信号を受信しなかった場合は、電波マークは何も表示されません。
子機からの信号を正常に受信した場合は が表示されますが、その後子機からの信号を受信できなくなると、以下のように電波マークの表示が変化していきます。

子機からの信号を正常に受信している場合。

子機からの信号を 1 回受信できなかった場合。
次の受信が正常に行われれば、上の電波マークに戻ります。

子機からの信号を 2 回連続で受信できなかった場合。
次の受信が正常に行われれば、上の電波マークに戻ります。

子機からの信号を 3 回連続で受信できなかった場合。
次の受信が正常に行われれば、上の電波マークに戻ります。

子機からの信号を 4 回連続で受信できなかった場合、親機に表示されていた測定値がバー表示になり、自動でサーチモード(3 分間)に入り、電波マークは以下のように表示します。

サーチモード中に、子機からの信号を受信すると、親機に測定値が表示され、電波マークが表示されます。
子機からの信号を受信できなかった場合は、測定値はバー表示になり電波マークは表示されなくなります。このような状態になったら、子機の状態(子機の電池残量は十分か、設置場所から移動されていないか、親機と子機の間に障害物がないか、雨や雪、霧などの悪天候でないか、など)を確認してください。
子機からの信号を受信できなかった場合でも、表示上部の受信済みのチャンネル番号は、約 10 日間表示されます。この 10 日間は、1 日 1 回自動で電波サーチモードに入り、子機を探し、信号を受信すれば、正常に表示するようになります。
10 日が経過しても子機が見つからなかった場合、受信済みを示すチャンネル番号は消えます。

注意: 子機からの信号を受信するタイミングで、親機のボタン操作をしていると、信号が受信できなくなり、電波マークが変化する場合があります。そのような場合は、次の受信時に何も操作しなければ正常に受信し、電波マークも元に戻ります。

## ９. エラー表示

親機、子機共通

1. 温度(TA)のエラー表示
   - Hi 測定範囲外(70.0℃より高い場合)
   - Lo 測定範囲外(−20.0℃より低い場合)
   - Err 温度(TA)センサに異常が発生している場合

2. 湿度(RH)のエラー表示
   - Hi 測定範囲外(99%RH より高い場合)
   - Lo 測定範囲外(5%RH より低い場合)
   - Er 湿度(RH)センサに異常が発生している場合

3. 温度プローブ(T1/T2)のエラー表示
   - Hi 測定範囲外(70.0℃より高い場合)
   - Lo 測定範囲外(−40.0℃より低い場合)
   - OPn 温度プローブが未接続または断線している場合
   - SHt 温度プローブが破損している場合

## １０．メンテナンス

本製品のお手入れ

本製品を清掃する際には、濡らした柔らかい布を固く絞り、軽く拭いてください。

清掃の際に、スプレーなど使用すると故障の原因になります。

また、シンナー、ベンジン類似の揮発性溶剤、または研磨剤などは使用しないでください。

## １１．こんなときには

| 何も表示されない。 | 電池の残量を確認してください。 |
| --- | --- |
| 表示が薄くなり、見にくい。 | 電池の残量を確認してください。また、低温下では、LCD 表示が薄くなりますが、故障ではありません。 |
| 親機の表示値と子機の表示値が違う。 | 子機は約 20 秒毎に表示値が更新されますが、親機は表示更新速度設定の設定(約 2 分か約 4 分毎)により表示値が更新されるため、親機と子機の表示値が一致しない場合があります。 |
| 親機の表示値がバー表示になっている。 | 子機からの信号が受信されていません。以下の確認をし、親機と子機との通信の再設定をしてください。<br>・子機の電池の残量はありますか？<br>・親機と子機の間の距離が 100m 以内ですか？<br>・親機と子機の間に電波を遮断するようなものがありませんか？<br>　建物や車、壁、植物などにより電波が遮断されることがあります。<br>・親機と子機のアンテナが上向きに設置されていますか？<br>　アンテナを横向きに設置すると、通信距離が短くなります。<br>・本製品や近い周波数帯の電波を発する機器が近隣で使われていませんか？<br>　使われていると、正常な通信ができない場合があります。 |
| ボタンを押しても反応しない。 | 内部回路に異常があります。電池収納部の [RESET] ボタンを押してリセットしてください。 |
| 通信距離が短い | 親機と子機の間に障害物があったり、雨や雪、霧などの悪天候の場合、通信距離は短くなります。 |

# １２．仕様

## １２－１．親機（AD-5663 本体）

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 表示項目 | ：温度(TA)／湿度(RH)／温度プローブ(T1)／温度プローブ(T2) |
| 表示範囲 | ：温度(TA)　－20.0℃～70.0℃ |
| | 湿度(RH)　5%RH～99%RH |
| | 温度プローブ(T1/T2)　－40.0℃～70.0℃ |
| 測定精度 | ：子機の測定精度を参照。 |
| 最小表示 | ：温度(TA)　0.1℃ |
| | 湿度(RH)　1%RH |
| | 温度プローブ(T1/T2)　0.1℃ |
| 表示更新間隔 | ：FAST(約 2 分)／SLOW(約 4 分) |
| 上限／下限アラーム | ：温度(TA)　0.0℃～50.0℃／0.5℃刻みで設定可能 |
| | 湿度(RH)　5%RH～99%RH／1%RH 刻みで設定可能 |
| | 温度プローブ(T1/T2)　－40.0℃～70.0℃／0.5℃刻みで設定可能 |
| | ブザー音量　70dB＠10cm、オフ設定可 |
| | LED ランプ　赤色、オフ設定可 |
| 機能 | ：最高値・最低値メモリ、ローバッテリー表示 |
| 電源 | ：AC アダプタ(別売オプション)または乾電池 |
| | AC アダプタ　入力定格　AC100V～240V |
| | 出力定格　DC5V／500mA |
| | コード長　約 1.8m |
| | 乾電池　単 3 形乾電池×4 本 |
| | 電池寿命　約 1 年(アルカリ電池使用、アラーム未使用、SLOW 設定時) |
| 動作温湿度範囲 | ：0℃～50℃、0%RH～90%RH(ただし結露しないこと) |
| 保存温湿度範囲 | ：－10℃～55℃、0%RH～95%RH(ただし結露しないこと) |
| 外形寸法 | ：120(W)×134(H)×30(D)mm(アンテナ等突起部含まず) |
| | アンテナは約 60mm |
| 質量 | ：約 325g(電池含む) |
| 標準付属品 | ：取扱説明書、単 3 形乾電池×4 本(モニタ用)、 |
| | AD-5663-01 外部センサユニット(温度プローブ 2 本付き) |
| 材質 | ：ケース、アンテナ、電池カバー、スタンド：ABS |
| | 操作ボタン：ゴム |
| | ネームプレート、LED ランプカバー：アクリル(PMMA) |
| | ネジ穴封入：ゴム |
| 別売オプション | ：AC アダプタ　AX-TB250 |
| | 増設用の外部センサ　AD-5663-01 |

## １２－２．子機（AD-5663-01 外部センサ）

測定項目　：温度(TA)／湿度(RH)／温度プローブ(T1)／温度プローブ(T2)

測定範囲　：温度(TA)　0.0℃～50.0℃
湿度(RH)　20%RH～90%RH
温度プローブ(T1/T2)　－40.0℃～70.0℃

測定精度　：温度(TA)　±1.0℃(10.0℃～39.9℃)、
±2.0℃(0.0℃～9.9℃、40.0℃～50.0℃)
湿度(RH)　±5%RH(30%RH～69%RH)、
(25℃時)　±10%RH(20%RH～29%RH、70%RH～90%RH)
温度プローブ(T1/T2)　±1.0℃(10.0℃～39.9℃)、
±2.0℃(－10.0℃～9.9℃、40.0℃～49.9℃)
±3.0℃(－40.0℃～－10.1℃、50.0℃～70.0℃)

表示項目　：温度(TA)／湿度(RH)／温度プローブ(T1)／温度プローブ(T2)

表示範囲　：温度(TA)　－20.0℃～50.0℃
湿度(RH)　5%RH～99%RH
温度プローブ(T1/T2)　－40.0℃～70.0℃

最小表示　：温度(TA)　0.1℃
湿度(RH)　1%RH
温度プローブ(T1/T2)　0.1℃

測定間隔　：約 20 秒毎

電源　：乾電池　単 3 形乾電池×2 本
電池寿命　約 1 年(アルカリ電池使用時)

無線設備の種別：特定小電力機器

電波伝搬距離　：最大 100m*（見通し距離）
*周囲温度が 25℃、晴天の乾燥した芝生上で、親機と子機は地上から 1.2m の高さに設置、親機と子機の間に遮蔽物等がない場合。(当社通信テスト)
子機を低温で使用する場合、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。
また、親機と子機の間に遮蔽物等があるとき、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。

使用電波周波数：314 MHz～314.8MHz
(CH1: 314.0 MHz, CH2: 314.2 MHz, CH3: 314.4 MHz, CH4: 314.6 MHz, CH5: 314.8 MHz)

動作温湿度範囲：0℃～50℃、0%RH～90%RH(ただし結露しないこと)

保存温湿度範囲：－10℃～55℃、0%RH～95%RH(ただし結露しないこと)

外形寸法　：66(W)×112(H)×31(D)mm(アンテナ等突起部含まず)
アンテナは約 68mm

温度プローブ寸法：シース長　約 150mm
シース径　φ4mm
取手(ハンドル)　約 88mm
ケーブル長　約 2.5m

質量　：子機　約 165g(電池含む、温度プローブは含まず)
温度プローブ　約 41g(プローブキャップ含む)

標準付属品　：温度プローブ 2 本(T1/T2)、シース保護キャップ、単 3 型乾電池×2 本(モニタ用)

材質　：ケース、アンテナ、電池カバー、スタンド：ABS、
LED ランプカバー：アクリル(PMMA)、ネジ穴封入物：ゴム
温度プローブ取手(ハンドル)、プローブキャップ：ABS
シース：ステンレス(SUS304)、ケーブル：ポリウレタン(PU)

別売オプション　：温度プローブ(1 本)　AX-KO4449

# AD-5663 チャンネルシート

AD-5663-01 外部センサ(子機)を複数台使用する場合、それぞれのユニットを区別するためにこのシートをご使用ください。(AD-5663 本体の近くに貼ってお使いください。)
このシートは、必要に応じてコピーしてご使用ください。

| | | |
|---|---|---|
| **AD-5663-01 チャンネル 1** | **TA(温度)** | |
| | **RH(湿度)** | |
| | **T1(温度プローブ)** | |
| | **T2(温度プローブ)** | |
| **AD-5663-01 チャンネル 2** | **TA(温度)** | |
| | **RH(湿度)** | |
| | **T1(温度プローブ)** | |
| | **T2(温度プローブ)** | |
| **AD-5663-01 チャンネル 3** | **TA(温度)** | |
| | **RH(湿度)** | |
| | **T1(温度プローブ)** | |
| | **T2(温度プローブ)** | |
| **AD-5663-01 チャンネル 4** | **TA(温度)** | |
| | **RH(湿度)** | |
| | **T1(温度プローブ)** | |
| | **T2(温度プローブ)** | |
| **AD-5663-01 チャンネル 5** | **TA(温度)** | |
| | **RH(湿度)** | |
| | **T1(温度プローブ)** | |
| | **T2(温度プローブ)** | |

# 保証規定

万が一、本製品を用いたことにより損害が生じた場合の補償は本製品の購入代金の範囲とさせて頂きます。また、次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1. 誤ったご使用または取扱による故障または損傷。
2. 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
3. 不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。
4. 火災、地震、水害、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
5. 保証書のご提示がない場合。
6. 保証書にご購入日、保証期間、ご購入店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
7. ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
8. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
9. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

製品に関するお問い合わせはお客様相談センターへ

受付時間：9:00～12：00　13:00～17:00
（日・祝日、年末年始、弊社休業日を除く）
通話料無料　0120-514-019
〒364-8585　埼玉県北本市朝日 1-243
株式会社エー・アンド・デイ FE 課
2011 年 4 月 6 日現在